FUYO LEASE GROUP

2024年12月18日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
（コード番号：8424 東証プライム）
代表取締役社長 織田 寛明

福岡県筑紫野市における系統用蓄電池事業について

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田 寛明、以下「芙蓉リース」）は、持分法適用関連会社である株式会社グローバルエンジニアリング（以下「GL社」）と連携し、福岡県筑紫野市において系統用蓄電池事業（以下「本事業」）を実施することをお知らせいたします。

本事業は当社グループとして各種補助・助成制度に依らない初めての系統用蓄電池事業の取り組みであり、2025年7月の商業運転開始に向けて準備を進めております。

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入が拡大する中、天候や時間帯により発電量が大きく変動する再エネ電源に対する出力抑制も増加しております。特に九州エリアは、太陽光発電を中心とする再エネの導入が先行して拡大していることから、出力抑制が多発する地域となっており、需給調整機能を保持した蓄電池の重要性が増しています。本事業を通じた電力系統の安定化に寄与する運用を行うことで、一層の再エネ電力の普及・拡大に貢献できるものと考えております。

本事業はGL社が有するアグリゲーション※1の知見や電力需給予測、蓄電池の制御・管理のノウハウや実績を活かし、卸電力市場、需給調整市場、容量市場※2での取引を行い、蓄電池を利活用することにより電力系統の安定化に貢献する運用を行います。

また、既に設置されている九州エリアでの蓄電池と併せて広域統合運用を行い、バランシンググループ※3内での電力量を融通することなど、蓄電池を最大限活用することを目指します。

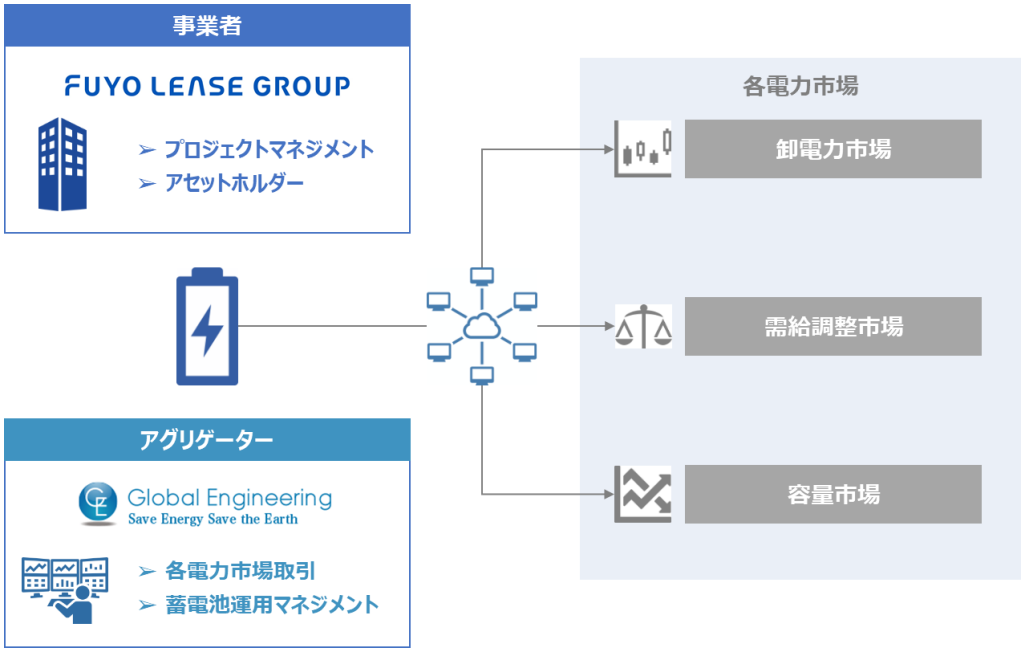
芙蓉リースグループは2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。

また、「エネルギー環境」を経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに位置付け、多様なエネルギー関連事業を国内外で展開し、脱炭素社会の実現に貢献するビジネスに取り組んでいます。電力需給の安定化と再エネの主力電源化に向けて必要不可欠な新たなビジネスモデルである系統用蓄電池事業に積極的に参画することで、ビジネス領域の拡大と豊かな社会の実現に貢献してまいります。

● 本事業の概要

（1） 事業者	芙蓉総合リース株式会社
（2） 蓄電所名（事業地）	筑紫野天山蓄電所（福岡県筑紫野市）
（3） 定格出力	1,958.4kW
（4） 定格容量	7,833.6kWh
（5） 蓄電池方式	リチウムイオン電池
（6） 運転開始予定	2025 年 7 月

＜ 本事業のストラクチャーイメージ ＞



※1 アグリゲーション

小規模な再生可能エネルギーや需要家を一つに束ねて効率的に管理すること。アグリゲーションサービスを提供する事業者（特定卸供給事業者や小売電気事業者など）をアグリゲーターと言う。

※2 卸電力市場・需給調整市場・容量市場

電力取引市場の中に、市場を通じて電力量（kWh）を売買する卸電力市場、将来に向けた電力の供給力（kW）を確保するための容量市場、電力の需要と供給のバランスに必要な調整力（ΔkW）を調達・運用するための需給調整市場などがある。

※3 バランシンググループ

複数の小売電気事業者が 1 つのグループを形成して、グループ単位での電力の需給管理を行う制度。代表契約者がグループに所属する各社の需給を取りまとめ、電力会社（一般送配電事業者）と 1 つの契約を結ぶことで、グループ単位で電力の需給バランスを保つ仕組み。

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）山﨑
電話番号　03（5275）8891　　URL：https://www.fgl.co.jp/